

高崎

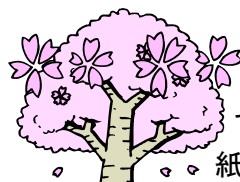
JAEA-TTTnews

技術移転ニュース

No.22 平成20年4月25日発行

開発技術を利用した「うちわ」作りを体験

施設公開「花と緑の見学会」



高崎研で4月6日(日曜日)に開催された施設公開(第32回 花と緑の見学会)において、セルロースゲルを混合した和紙を用いた「うちわ」作り体験が行われました。この和紙は、福井県の伝統工芸品である越前和紙に高崎研で開発したセルロースゲルを混合することで低収縮性の和紙を開発し、壁紙等への新たな市場展開を目指すための研究開発を行っているものです。当日は、晴天に恵まれて桜の満開の中での施設公開となり、うちわ作りも用意した席がすぐに満杯となり慌てて増席するほどの大盛況で、来所された地域住民など、200名近い方々に伝統工芸品と放射線利用技術が融合した越前和紙を用いたうちわ作りを体験してもらい、楽しいひとときを過ごしてもらいました。



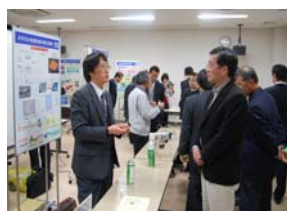
うちわ作り風景



産学官連携による新産業創出を目指して

=「放射線利用フォーラム2008 in 高崎」開催=

平成20年2月6日、高崎研と高崎市の主催で「放射線利用フォーラム 2008 in 高崎」が高崎市産業創造館において開催されました。本フォーラムは、高崎研での最新の研究成果の発表と成果を利用した技術移転の事例について紹介し、新産業創出につなげてもらうため、毎年開催



デモンストレーション風景

しているものです。今回、新しい試みとして、開発した技術を直に体験してもらうコーナーを設け、水素に触れると瞬時に色が変わる素材など、高崎研で開発した技術のデモンストレーション5件を実際に目で見て有用性を確認してもらいました。当日は、底冷えの寒さにも関わらず県内外の企業関係者など146名もの参加があり、盛況のうちに終了することができました。



産学官連携により作出したキク科の新品種「ヴィエントフラミンゴ」

技術移転活動

平成19年 9月12～14日:イノベーションジャパン 2007(東京国際フォーラム)
11月27～28日:アグリビジネス創生フェア 2007(東京国際フォーラム)
11月28～30日:2007産学官技術交流フェア(東京ビックサイト)
11月30日:産学官連帯フェスタ(前橋市商工会議所)
平成20年 1月31日、2月1日:はままつメッセ2008(浜松市)



2007産学官技術交流フェア
展示・説明風景

オープンセミナー

平成19年10月17日

「先端加速器技術によるガン治療への挑戦

平成20年1月16日

「環境に優しい植物由来ハイドロゲルの開発」

日本原子力研究開発機構 産学連携推進部 技術移転課(高崎)

窓口: 笠井昇 〒370-1292 高崎市綿貫町1233

TEL:027-346-9812 FAX:027-346-9381

E-mail: takasaki-transfer@jaea.go.jp

http://www.taka.jaea.go.jp